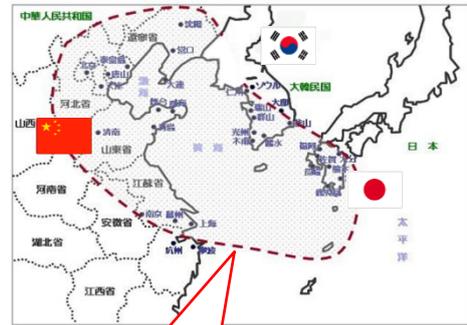


※「環黄海経済・技術交流会議」とは

東アジア・環黄海地域の経済圏域の発展と交流の深化を目指す交流プラットフォームとして、2001年3月にスタート。これまでに九州・韓国・中国の順に持ち回りで21回開催。三国政府(日本:九州経済産業局、韓国:産業通商資源部、中国:商務部)によるコミットのもと、年一度、三国の産学官関係者が一堂に集い産・学・官のそれぞれの交流を深化させることを目的として開催しています。

第9回日中韓サミット(2024年5月27日、韓国・ソウル)の共同宣言において、環黄海経済・技術交流会議を含む協力プラットフォームを強化する旨が明記されました。



「環黄海地域」

九州と韓国・中国の黄海に面した沿岸部で構成される経済圏

開催実績

- 第1回(2001年3月):福岡市
- 第2回(2002年10月):韓国全州市
- 第3回(2003年9月):中国威海市
- 第4回(2004年10月):宮崎市
- 第5回(2005年11月):韓国大田広域市
- 第6回(2006年11月):中国日照市
- 第7回(2007年11月):熊本市
- 第8回(2008年10月):韓国仁川広域市
- 第9回(2009年7月):中国煙台市
- 第10回(2010年10月):北九州市
- 第11回(2011年11月):韓国太田広域市
- 第12回(2013年11月):中国連雲港市

- 第13回(2014年11月):佐世保市
- 第14回(2015年11月):韓国釜山広域市
- 第15回(2016年7月):中国塩城市
- 第16回(2017年11月):鹿児島市
- 第17回(2018年11月):韓国群山市
- 第18回(2019年11月):中国濟寧市
- 第19回(2021年11月):熊本市
- 第20回(2022年11月):韓国釜山広域市
- 第21回(2023年10月):中国大連市
- ※第19回、第20回はオンライン会合